

自己評価結果票

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|---|-------------------------|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| 1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 事業所理念『安心・安全・愛・そして和』 事業所方針『個性を理解し、お一人おひとりの尊厳を大切に考え、常に共感し合える関係うを築く』 | | |
| 2 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 朝礼時の唱和をはじめ、理念の勉強会を開き統一した理念のもと、日々のケアに取り入れられている | | |
| 3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切に理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | 玄関前の掲示板に理念を掲げ、地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。施設内にもさりげなく理念を掲げ、家族様・入居者様への理解につとめている | | ほおずき通信を発行し、家族会、運営推進会議、地域交流行事等に紹介している |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 玄関前にプランターやぬいぐるみ、犬の置物等を飾り道行く人と気軽に会話ができるような雰囲気づくりを行っている | | 花の水遣りや玄関前の掃除など、入居者様と一緒にすることにより、散歩の方との会話ができるように工夫している |
| 5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 自治会に回覧板を回してもらい、地域行事を把握し参加する機会を作っている。また、地域の美容院や喫茶店を利用し、日頃から交流出来る様につとめている | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|-------------------------|---|
| 6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 介護相談室を開き、地域の方々の暮らしに役立つよう取り組んでいる | ○ | ふれあい喫茶を開いているが、あまり利用されていない為、地域の方々への広報を行い広めていきたい |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | |
| 7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 改善計画シートを作成し、具体的な目標や改善計画内容を定め実行している | | |
| 8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 月毎の報告と予定をお伝えし、都度、ご意見や助言を頂いている。頂いたご意見や助言を再検討し、サービスの向上につとめている | | |
| 9 ○市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 介護保険の更新の手続きの代行時などに市町担当者と情報交換を行っている | ○ | 特定の機会だけでなく、地域交流行事などを通して、施設に訪れて頂く機会を多くつくり、助言やご意見を頂き、サービスの質の向上につとめていきたい |
| 10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 個別に対応を行い必要に応じ支援している | | 勉強会を開き、制度への理解を行っている |
| 11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 新人研修の他にも定期的に勉強会を開き、虐待に対する注意、意識が働くようにつとめている | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|--|-------------------------|----------------------------------|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | | |
| 13 | <p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | | |
| 14 | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | | |
| 15 | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | | |
| 16 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | | |
| 17 | <p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|-------------------------|----------------------------------|
| <p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>日常的に全入居者様との関係づくりを行い、馴染みの関係を構築しており、また、定着率も安定している為、ダメージは最小限におさえられている</p> | | |
| <p>5. 人材の育成と支援</p> | | | |
| <p>19</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>年間計画をもとに、自主勉強会やビデオ研修、ほおずき全体研修を実施し、育成に取り組んでいる</p> | | |
| <p>20</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>地域ケア会議やあんしんすこやかセンターでの勉強会に参加するなどし、交流活動を通し、質を向上出来るように取り組んでいる</p> | | |
| <p>21</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p> | <p>休憩室の充実や親睦会を利用し、ストレスの軽減に取り組んでいる</p> | | |
| <p>22</p> <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> | <p>マイチャレンジを行い、自己目標を設定し、職員が目標達成に向けて努力できるよう支援している</p> | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|--|----------------------------------|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 入居前の面接時や入居後もご本人の希望する生活を実現出来るようにつとめている | |
| 24 | ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 相談室や来訪時に時間を作り、信頼関係を築けるよう努力している | |
| 25 | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ご家族やご本人のご意見、ご要望も含め、必要とされているサービスを専門職(CM・介護福祉士・Ns)からの視点で検討し、対応している | |
| 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 日中に来訪し、GHで過ごして頂き、馴染みの関係が築けてきた頃に入居して頂いている。また、併設のDsを利用して頂き施設の雰囲気に慣れて頂く事もある | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | |
| 27 | ○利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている | 尊厳を持って接し、信頼関係を築くようつとめている | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|--|-----------------------------------|-------------------------|----------------------------------|
| 28 | ○利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている | 共に支えあえるよう、情報を交換しながら、関係づくりにつとめている | | |
| 29 | ○利用者と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 家族と入居者様がより良い関係を継続できるよう支援している。 | | 家族会やお誕生日会、日帰り旅行の実施 |
| 30 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 友人・知人との交流が途切れる事のないよう支援している | | 手紙や電話の支援 |
| 31 | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | スムーズに関わりがとれるよう、パートナーが関係づくりを支援している | | |
| 32 | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 退去後も相談に応じられるよう関係を継続する努力をしている | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|--|---|----------------------------------|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | |
| 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日常的に意向を把握出来るようにつとめている。また困難な場合も、ご本人の意向をくみ取る努力をしている | |
| 34 | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居前に、ご本人やご家族と面接を行いアセスメントを行っている。また、CMとの情報交換も行い、把握につとめている | |
| 35 | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | その人らしい暮らしを構築出来るように日常的に観察を行い、定期的なケアカンファレンスを開催している | |
| 2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | |
| 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | カンファレンスや面談時に意見交換をしながら、よりよい介護計画を作成している | |
| 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | ご本人・ご家族と話し合いのもと、3ヶ月毎の見直しと状況に合わせた計画の変更を行っている | |

| 項 | 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------|---|---|-------------------------|----------------------------------|
| 38 | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 介護記録の他、個別記録ノートを利用し、情報の共有・実践を行い介護計画へ反映させている | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 入居前にデイサービスをご利用頂くことを案内させて頂き、ご要望に応じ利用頂いている | | |
| 4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | ○地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 地域資源を活用できるような広い窓口を作り、意向に沿えるように努力している | | |
| 41 | ○他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 個別の希望・要望に応じられるよう努力している | | |
| 42 | ○地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 個別の希望・要望に応じられるように、地域包括支援センターと協力出来るような体制をとっている | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|--|-------------------------|--|
| <p>43</p> <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>協力医との連携を密に行っており、入居者様の日々の状態を把握して頂いている</p> | | <p>週1回の定期往診に加え、状態に変化があった方へは、臨時往診に来て頂くなど、速やかに医療を受けられるよう支援している</p> |
| <p>44</p> <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p> | <p>認知症の専門医(橋本クリニック 池上医師)に相談や受診を日頃から行っている</p> | | |
| <p>45</p> <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p> | <p>協力医である木下内科クリニックの看護師に日常的に相談や健康管理の支援をお願いしている</p> | | |
| <p>46</p> <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p> | <p>入院時には、お見舞いに定期的に行き医師や看護師と情報交換の上、早期退院に対応出来るように支援している</p> | | |
| <p>47</p> <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> | <p>認知症の進行にともない、ご家族・協力医と話し合いの場を設け、重度化・終末期の過ごし方について職員も把握している</p> | | |
| <p>48</p> <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> | <p>ご家族・協力医との話し合いを行い、ご家族の希望を聞きながら、協力医と共にケアや医療方針を検討し支援する体制を整えている</p> | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|---|--|-------------------------|----------------------------------|
| 49 | ○住み替え時の協働によるダメージの防止 利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | ご本人やご家族様と話し合い、ダメージを最小限に出来るよう努力している | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | |
| 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 定期的に、言葉遣いや尊厳についての勉強会で周知徹底を行っている。 | | |
| 51 | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | 日々の関わりの中で働きかけ、支援している | | |
| 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | お一人おひとりのペースに合わせて、落ち着いて過ごして頂けるように支援している | | |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | |
| 53 | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | TPOに合わせて身だしなみやおしゃれお楽しみよう支援している | | 昔馴染みの美容院や洋服店を利用して頂いている |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|--|-------------------------|--|
| 54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 入居者様と職員と一緒に、好みや季節が感じられる食事作りを行い、一緒に食事を摂り、片付けも能力に応じ行っている | | |
| 55 ○利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | ご家族と情報を共有し、昔からの好みを楽しめるよう支援している | | |
| 56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 排泄チェック表などを利用し、スムーズに排泄して頂けるように支援している | | |
| 57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 希望に応じた時間帯に入浴して頂き、入浴剤などを用い、楽しめるように支援している | | |
| 58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | お一人おひとりの体調や身体状況、習慣に合わせて休息できる環境を提供している | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | |
| 59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 生活に張りを持てるように、役割や娯楽を提供している | | 趣味のカラオケや手芸、散歩、買い物などの支援をしている。家事や水遣りなどの役割づくりを行っている |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|---|--|-------------------------|----------------------------------|
| 60 | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご家族の了解のもと、希望に応じて買い物の際など、お金を持参し、支払いを出来るよう支援している | | ご家族の協力のもと、お小遣いを自己管理して頂いている方もいる |
| 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 普段の生活の基本として外出は切り離せないものである。気分転換の散歩や買い物、通院など、日常的に出かけて頂いている | | |
| 62 | ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | ご家族が参加される日帰り旅行や個別に希望される所へ出かけている | | |
| 63 | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 日常的に希望に応じ支援している | | |
| 64 | ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 気軽に来訪でき、来訪時には居心地よく過ごして頂けるような環境を提供している | | 明るい雰囲気づくりや、喫茶ルームの開放 |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 定期的に勉強会を開催し周知徹底を図っている | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|--|-------------------------|---|
| <p>66</p> <p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p> | <p>認知症ケアの理解を通し、全職員が意識し統一出来ている</p> | | <p>入居者様の行動を把握し、常に見守れる体制を取っている。職員の休憩時に1名体制となる場合のみ、安全確保の為、施錠する場合がある</p> |
| <p>67</p> <p>○利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p> | <p>常時職員が在中しており、把握している。また、行動を予測し、安全の確認も行っている</p> | | |
| <p>68</p> <p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p> | <p>必要に応じ対応している。夜間帯は薬品及び刃物類は所定の場所に保管している</p> | | |
| <p>69</p> <p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p> | <p>勉強会やヒヤリハット検討会を通して取り組んでいる。個別の状態に応じ、カンファレンス等で取り組み共有している</p> | | |
| <p>70</p> <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p> | <p>医師にも協力頂き、勉強会を行っている</p> | | <p>協力医によるCPR法及びAED使用方法勉強会など</p> |
| <p>71</p> <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | <p>定期的に消防訓練を行い、周知徹底を図っている</p> | | <p>地域の交番所と消防署とは定期的に情報交換を行い指導して頂いている。地域の方々には協力頂けるような働きかけを検討している</p> |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|---|--|-------------------------|---|
| 72 | ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている | 面談時に説明し、安心して暮らして頂ける環境を提供出来るよう話し合っている | | |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 73 | ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 早期に発見出来るよう毎日健康チェックを行うと共に観察を行っている。また、体調に変化があった場合は速やかに、情報を共有し協力体制がとれるように手配している | | |
| 74 | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 服薬表や薬情報を活用し、症状の変化の確認につとめている | | |
| 75 | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 食事時に食物繊維や牛乳を摂って頂けるようなメニューを考え提供している。また、腸の蠕動運動を促す為の、マッサージや体操を取り入れている | | 牛乳を、コーヒーや紅茶に入れ飲みやすいように提供している。また、毎日ラジオ体操を行っている |
| 76 | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 毎食後に歯磨きを習慣として行って頂いている。また、毎月、歯科医師・歯科衛生士による口腔ケア指導を取り入れ支援している | | |
| 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 職員が入居者様と一緒に食事を摂る事で、お一人おひとりの摂取状況が把握でき、それに応じて支援している | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|---|-------------------------|---|
| 78 | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している (インフルエンザ、疥癬、肺炎、M R S A、ノロウイルス等) | マニュアル通り実行している | | |
| 79 | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 常に清潔を心がけ、衛生管理を行っている | | 食器乾燥機の使用やまな板の消毒、手拭タオルの交換の徹底を行い、食材の管理は、食材に表記された通りの保管方法で行う事を厳守している。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 季節の花や可愛いぬいぐるみ等を飾り、親しみやすい環境づくりを行っている。また、休憩して頂けるようにベンチを置くなど工夫している | | |
| 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間 (玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等) は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 心地よく過ごして頂けるように、環境整備と共に、季節の花を飾り、アロマなどで癒しを提供している | | |
| 82 | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 仲の良い入居者様同士で過ごせるように、衝立などを使用して空間づくりを行っている。また、和室を活用している | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|-------------------------|---|
| 83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居の際に家族様に説明し、使い慣れた家具や食器を持参頂いている。 | | |
| 84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 空気清浄機を使用し、調整を行うと共に、こまめに換気を行っている。室温は室温計を用い調整している | | |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | |
| 85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 安全に暮らして頂けるように工夫している | | 床のバリアフリーに加え、フローアや階段の手すりの取り付け、浴室の洗身台など。また、個別に自立した生活が送って頂けるように、居室内の充実(冷蔵庫やテレビ設置など)を支援している |
| 86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | ご希望に応じた新聞の定期購読や昔馴染みの知り合いとの外出や外泊の支援を行っている | | |
| 87 ○建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | ベランダにプランターを置き季節の花や野菜などを栽培している。また、ベランダにて屋外パーティーを開催している | | |

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

| V. サービスの成果に関する項目 | | 取り組みの成果 (該当する箇所の番号の前に○印をつけてください) |
|------------------|--|---|
| 項 | 目 | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない |

| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の前に○印をつけてください) |
|-----|---|---|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | <input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない |
| 98 | 職員は、生き活きと働いている | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

最近であるが、地域の住民と入居者様の橋渡しであるパートナーが、出勤・退勤時や入居者様との散歩時などに施設周辺で出会う全ての方に挨拶をするという『ほおずき挨拶運動』を始めた。日々挨拶を交す事により、関心や興味を持って頂けるようになってきている。玄関前の掲示板も楽しみにされている声もよく聞かれるようになった。